

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	博物館活動事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	博物館の来館者	意図	流山の歴史や文化財について理解し、継承していただくようにする。
事業内容	資料の収集・保管、調査・研究、常設展の展示・公開、講座・講演会・子ども教室などの開催による教育・普及など、各分野の事業を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市立博物館は、市政施行10周年事業として昭和53年6月に流山市郷土資料館として開館。博物館法に基づき、収集保管・調査研究・展示公開・教育普及の各事業を実施。昭和59年4月に流山市立博物館に改称。その中で生涯学習社会の成熟、学校教育における総合学習の新設などに対応した。平成13年4月にリニューアルオープン。時系列で流山の歴史が理解できるように展示を展開し、また市民が展示に利用できる市民ギャラリーを新設した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	観覧者数	29,232	25,813	23,793	人	→→	
②	講演会・講座開催数	27	27	44	回	↑↑↑		
③	受講者数	1,035	1,333	1,984	人	→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成28年度の観覧者数は前年度より減少してしまったが、出前講座や出前授業を積極的に開催した。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,970,029	6,318,876	11,424,329				
事業費(b)(円)		2,279,929	2,229,556	2,859,002				
うち一般財源		2,279,929	2,229,556	2,859,002				
職員給与費(c)(円)		14,690,100	4,089,320	8,565,327				
人役・職員(人)		1.70	0.30	0.90				
人役・再任用(人)		0.50						
人役・臨職(人)		1.60	1.67	2.13				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	博物館活動の活性化を目的とした講座事業の充実	③取組の課題	館外活動の更なる充実と展示構成の検討を進める。
②今年度(H28)に実施した取組	出前講座を積極的に行うことができた。	④今後の改善計画	博物館への来館・講座への参加数を増やすための検討を進める。